



**アカアマダイ**  
**日本海西・九州北西部**  
**令和3年度資源評価結果**

# 生物学的特性

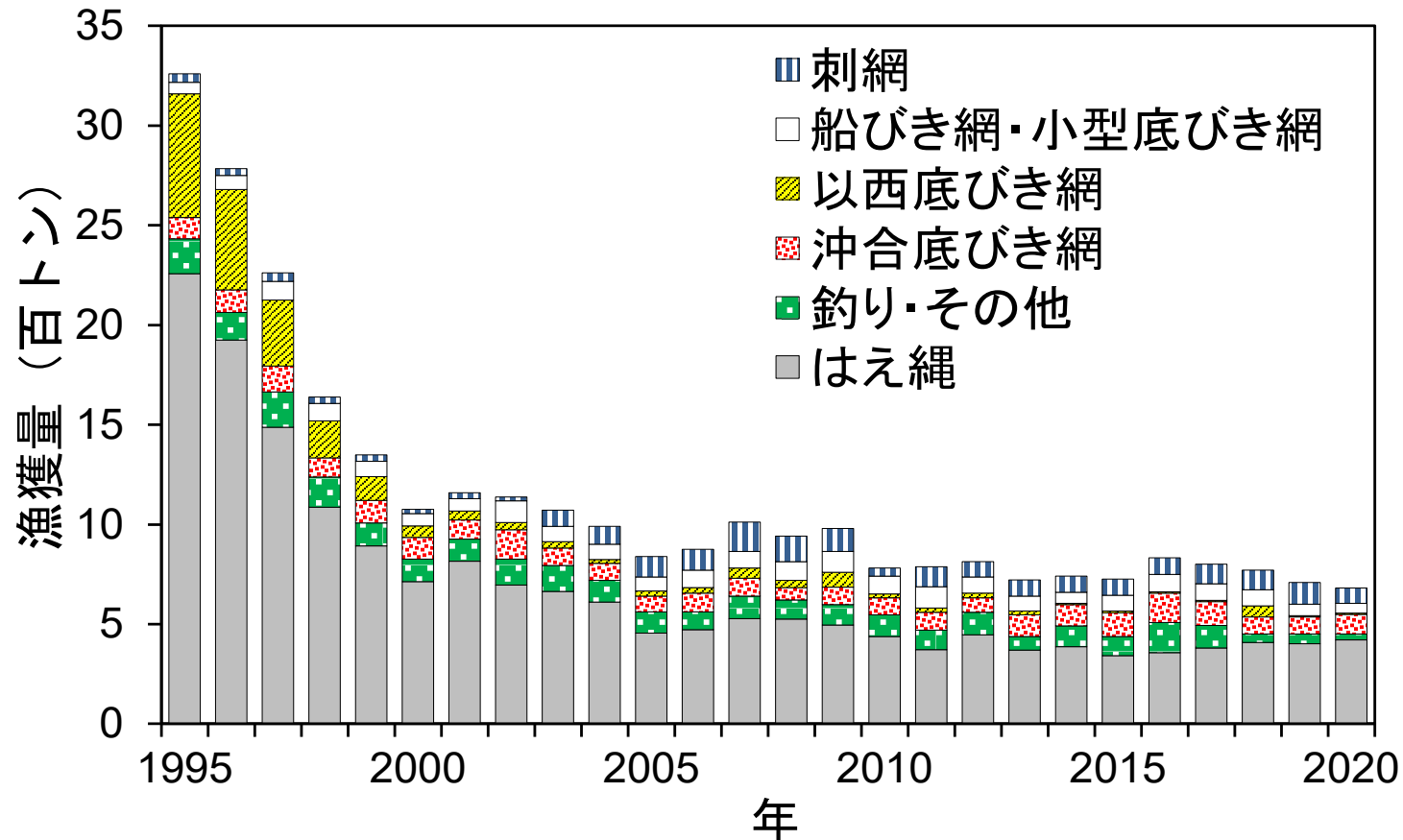


## 生物学的特性

- 寿命:雄11歳、雌9歳程度
- 成熟開始年齢:50%成熟全長は雌雄ともに4歳にあたる
- 産卵期・産卵場:日本海南西海域で6月～10月、対馬北東海域で7月～11月、水深100m～130mの海域
- 食性:魚類、甲殻類、多毛類、頭足類、貝類、棘皮動物
- 捕食者:底棲の大型魚類

・ 日本海西部海域から東シナ海にかけて、陸棚上～陸棚縁辺域の水深80～130 mの海域が主分布域

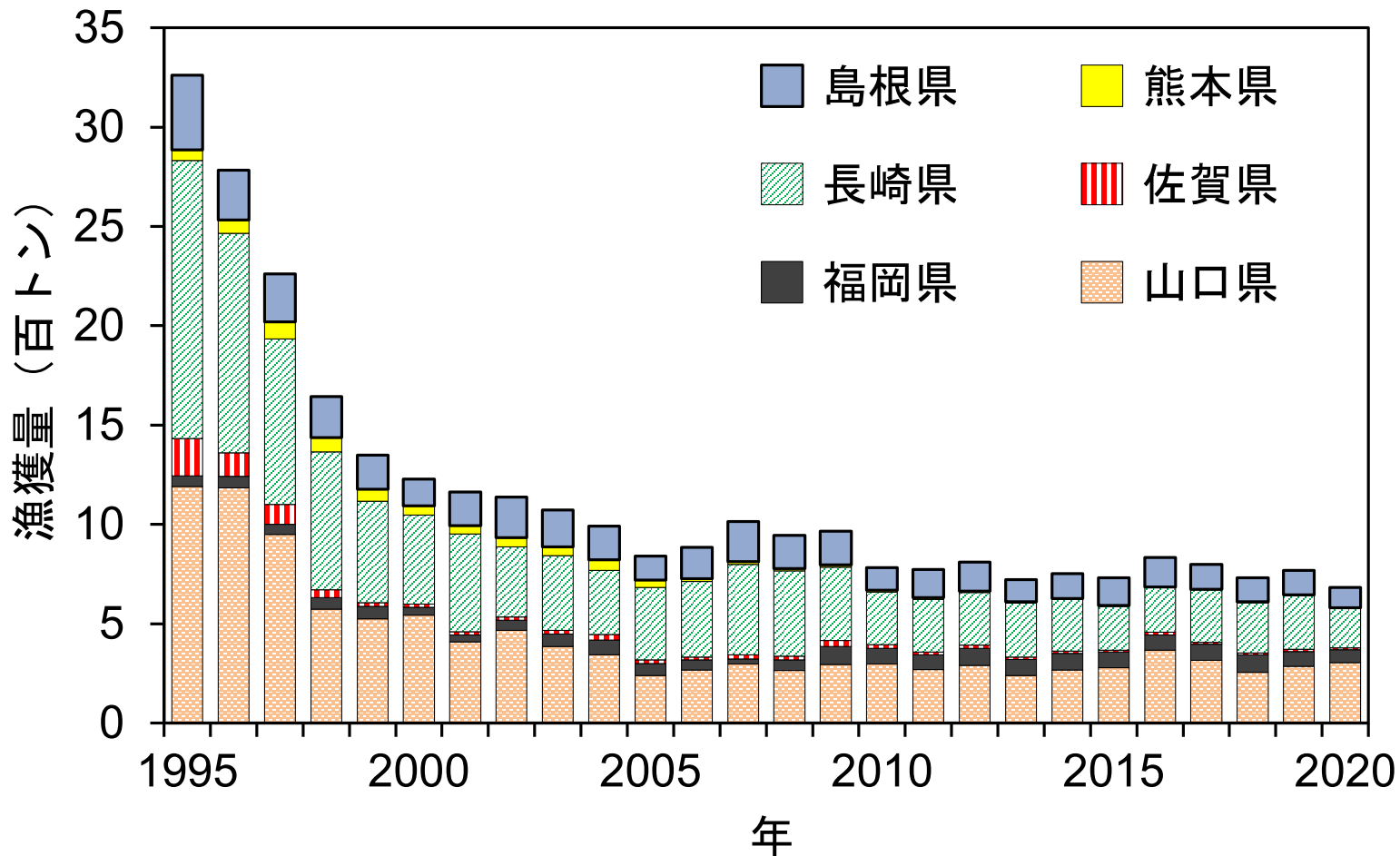
# 漁獲の動向①



※資源評価対象海域外である東シナ海陸棚上～陸棚斜面域の漁獲量を含む

- 漁業の主体ははえ縄漁業（はえ縄）
- 2000年にかけて東シナ海におけるはえ縄が急減
- はえ縄および沖合底びき網漁業（沖底）の努力量は減少傾向
- 2020年の漁獲量は682トン

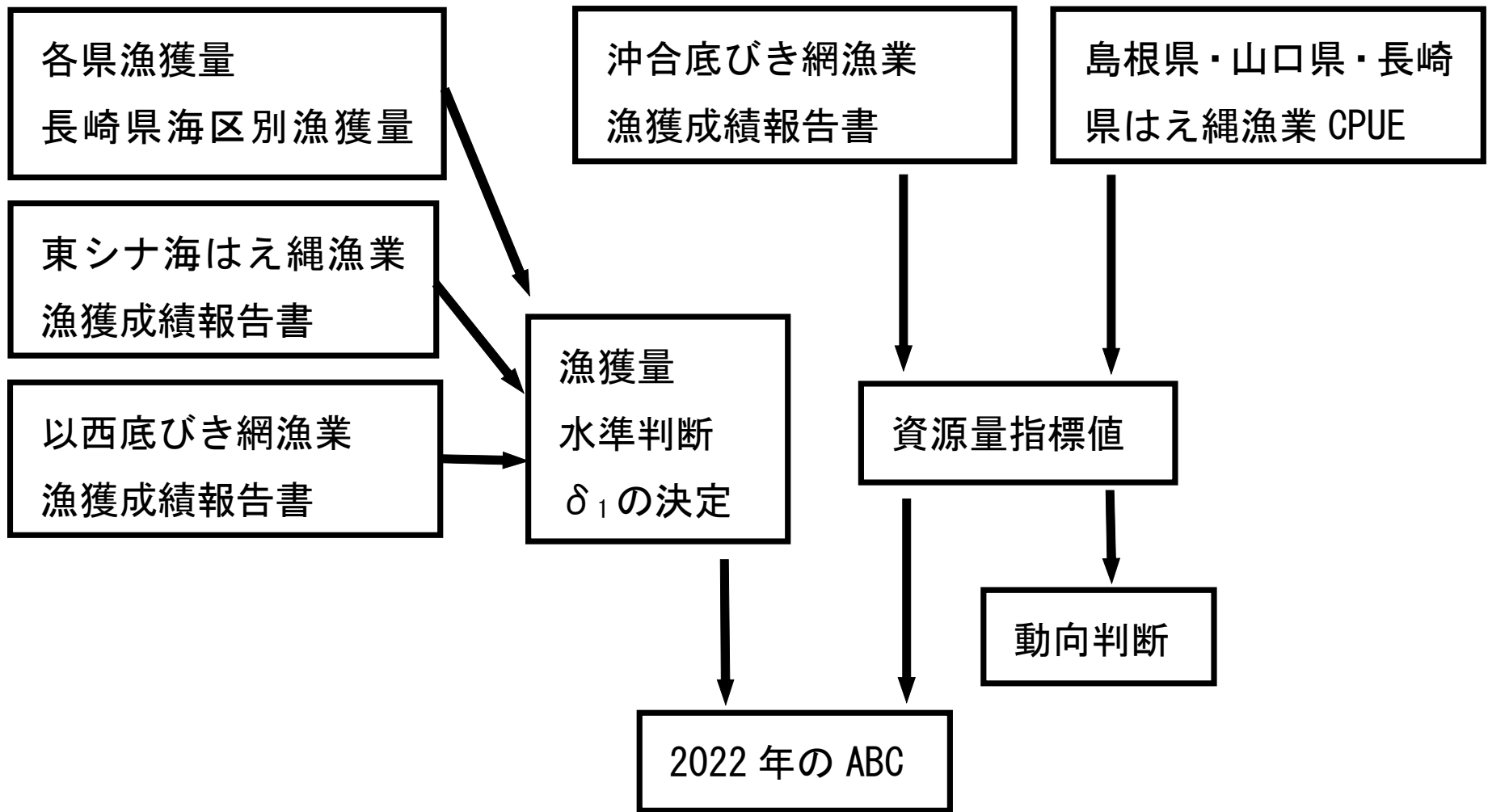
# 漁獲の動向②



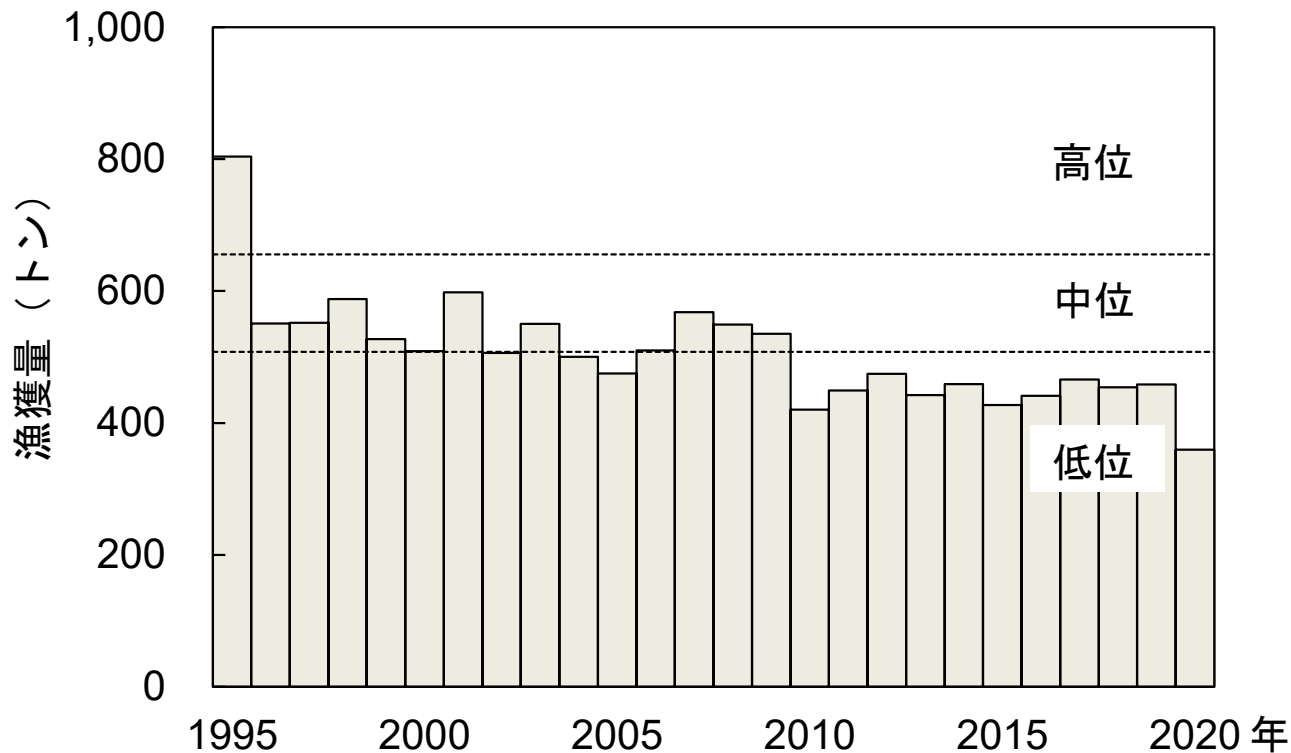
※資源評価対象海域外である東シナ海陸棚上～陸棚斜面域の漁獲量を含む

- 2000年にかけて東シナ海における漁業の衰退により急減
- 山口県と長崎県が突出しており、次いで島根県が多い

# 資源評価の流れ



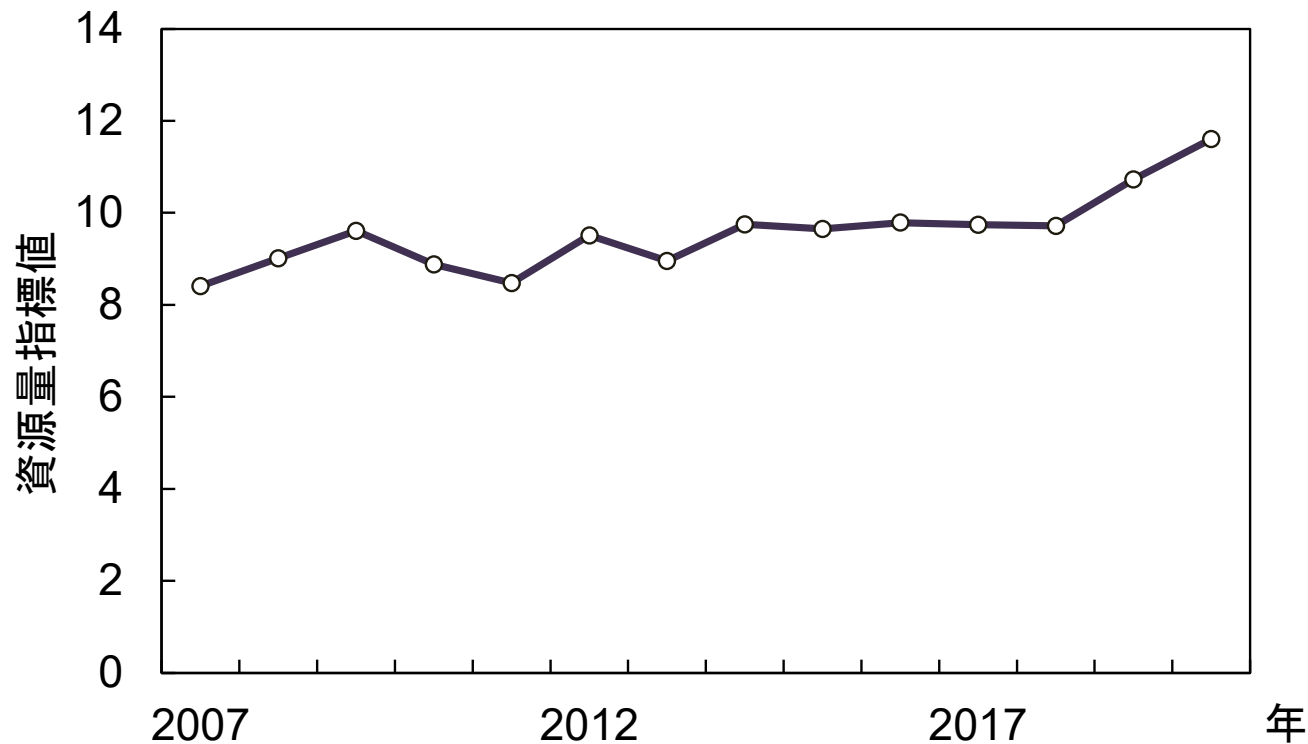
# 資源の動向①



※水準区分 低位／中位：漁獲量508トン、中位／高位：漁獲量656トン  
(漁獲量の最大値804トンと最小値359トンの間を3等分して算出)

- 日本海西・九州北西部に限った漁獲量データとして20年以上蓄積のある島根県、福岡県および長崎県沿岸域の漁獲量から資源水準を判断
- 2020年の漁獲量は359トンで低位

## 資源の動向②



- 資源量指標値は沖底（2そうびき・浜田以西）の標準化CPUE、島根県、山口県、長崎県のはえ縄のCPUEから求めた
- 最近5年間（2016年～2020年）の資源量指標値の推移から、資源動向は増加

※CPUE：単位努力量当たり漁獲量

# 資源評価のまとめ

- 資源水準は低位、動向は増加
- 島根県、福岡県、長崎県沿岸域の漁獲量から資源水準を、資源量指標値の推移から資源動向を判断した

## 2022年ABC

管理基準	Target/ Limit	2022年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.8・C2020・1.09	Target	471	—	—
	Limit	588	—	—

- 0.8 : 資源水準が低位、資源動向が減少である場合の標準値
- C2020 : 2020年の本評価対象海域の漁獲量 (675トン)
- 1.09 : 資源量指標値の近年の動向から算定される係数